

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	204	1年	前期	看護学科	必修	生活援助技術論Ⅰ Nursing Methods for assisting Daily Living I	30	1
担当教員								
北川 恵		窪田 静		徳永 なみじ		香川 里美		谷本 淳子
長尾 奈美		野本 百合子						森 敬子
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="checkbox"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="checkbox"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="checkbox"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
<input type="checkbox"/>	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	④ 医学検査とそれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
<input type="checkbox"/>	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
授業目的								
基本援助技術論を基盤に、「動く」「食べる」機能の診査技術を含むアセスメント方法および援助技術を学ぶ（オムニバス方式）。事前学習、グループ学習、演習を設定し、主体的な援助技術の習得を目指す。演習は3～4人1組とし、看護者、患者、観察者を交互に体験する。								
到達目標（授業目標）								

1	「動く」を支える物理的な法則を学び、動く機能を体験しながら、筋・骨格系の基本的知識およびアセスメント方法の基礎が獲得できる。
2	自立度を高め、身体損傷を防ぐための効果的な「動く」の援助方法を体験し、その意義が実感できる。
3	二次障害を防ぎ、寝たきりを起こすために効果的な「動く」の援助方法を体験し、その意義が実感できる。
4	「食べる」ための基本的知識および機能と、栄養のアセスメント方法が説明できる。
5	「食べる」機能の低下および障害に合わせた食事支援方法を体験し、その意義が実感できる。
6	「食べる」機能の回復・維持を促す援助方法を体験し、その意義が実感できる。
7	摂食嚥下にかかわる専門職の支援方法を学び、多職種との連携のあり方を考えることができる。
回	授業計画（項目・内容与方法・担当者）
1回	オリエンテーション：本科目の目的・目標、演習方法の説明（北川恵） 動く機能の基本的知識：動きにかかわる基本的知識：体位、移乗・移動に用いる機器（徳永なみじ、担当者全員）
2回	動く機能のフィジカルアセスメント：筋・骨格系の基本的知識とアセスメント（徳永なみじ、担当者全員）
3回	【「動く」の展開：「動く」を学ぶ出発点】ひとの自然な「動く」機能（Natural pattern of human movement）、体位変換・起き上がり、ポジショニング、作業環境と労働者の身体損傷（ノーリフト・ノーリーフティング・SPHM）（窪田静、担当者全員）
4回	【「動く」の展開：離床につなげる「臥位の動く」を援助する技術】ベッドでの上方移動、ベッドの背上げと背下げ、スライディングシートの活用、臥位での移乗と搬送（長尾奈美、担当者全員）
5回	【「動く」の展開：離床の質を高める「座位での動く」を援助する技術】座位での重心移動・ヒップウォークとその応用、座位のメカニズム・座位の安定・安楽のための援助技術、座位での搬送（窪田静、担当者全員）
6回	【「動く」の展開：離床の質を担保する「ベッドサイドを動く＝移乗」を援助する技術】離床と移乗と座位、背面開放座位、様々な移乗援助技術・半起立移乗・座位移乗・リフト移乗、（窪田静、担当者全員）
7回	【「動く」の展開：「動く」の学びを活用する看護実践】「動く」援助の質と二次障害（褥瘡・拘縮・変形）・自立支援、進むノーリフトケア（窪田静、担当者全員）
8回	【「食べる」の展開】食事援助の基本知識、食べる機能の理解：「食べる」機能・栄養状態のアセスメント、摂食・嚥下機能に関する検査と評価、医療施設で提供される食事（栄養療法・治療食を中心に）、食べるための環境調整（北川恵）
9回	【「食べる」の展開】食事援助の基本知識、食べる機能の理解：「食べる」機能・栄養状態のアセスメント、摂食・嚥下機能に関する検査と評価、医療施設で提供される食事（栄養療法・治療食を中心に）、食べるための環境調整（北川恵）
10回	【「食べる」の展開】食事援助の基本知識、食べる機能の理解：「食べる」機能・栄養状態のアセスメント、摂食・嚥下機能に関する検査と評価、医療施設で提供される食事（栄養療法・治療食を中心に）、食べるための環境調整（北川恵）
11回	【「食べる」の展開】食事援助の基本知識、食べる機能の理解：「食べる」機能・栄養状態のアセスメント、摂食・嚥下機能に関する検査と評価、医療施設で提供される食事（栄養療法・治療食を中心に）、食べるための環境調整（北川恵）
12回	【「食べる」の展開】＜演習＞「食べる」機能のアセスメント、栄養状態のアセスメント（北川恵、森敬子、担当者全員）
13回	【「食べる」の展開】＜演習＞食べる機能を考えて食事援助技術：機能低下および機能障害に合わせた食事援助方法（食事環境調整、介助位置・嚥下食のコーディネート、介助道具等）（北川恵、森敬子、担当者全員）
14回	【「食べる」の展開】＜演習＞食べる機能を考えて食事援助技術：「食べる」機能の回復・維持を促す技術：口腔内の構造、口腔の清掃、義歯の取り扱い、嚥下訓練（北川恵、森敬子、担当者全員）
15回	多職種で支える食支援：摂食嚥下機能訓練の実際（言語聴覚士）

16回						
17回						
18回						
19回						
20回						
21回						
22回						
23回						
24回						
25回						
26回						
27回						
28回						
29回						
30回						
成績評価方法及び基準						
筆記試験70%、事前学習・演習後レポート30%で評価する。トータル60点以上を合格とする。						
教科書	任和子他「系統看護学講座-基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ」医学書院 任和子他「系統看護学講座-基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ」医学書院 窪田静・栄健一郎・樋口由美「楽に動ける福祉用具の使い方」日本看護協会出版会 大久保暢子「日常生活行動からみるヘルスアセスメント」日本看護協会出版会					
参考図書等	適宜紹介する。					
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）						
根拠に基づく確実な技術の修得に向けて、基本的な知識や技術の事前学習、視聴覚教材の視聴、演習後レポート、技術練習、等の課題を毎回提示する。						
関連科目						
前科	201 看護学概論	203 基本援助技術論	208 基礎看護学実習Ⅰ	205 生活援助技術論Ⅱ	206 診療援助技術論	
後科						
実務家教員						
看護師（医療機関）	北川 恵	窪田 静	徳永 なみじ	香川 里美	谷本 淳子	森 敬子
看護師（医療機関）	長尾 奈美	野本 百合子				
備考	根拠に即した知識と確実な技術習得のため、文献・視聴覚教材を活用し、担当教員と連携を取りながら、各単元で設定した学習課題に主体的に取り組むことを期待する。					